

# いばらき節電プロジェクト2012における節電効果について

社団法人 茨城県公害防止協会

日立市交流センター（日高地区、仲町地区、諏訪地区、塙山地区）及び那珂市菅谷地区から138世帯の参加協力を得て実施している「いばらき節電プロジェクト2012」の7月の節電効果を報告いたします。

節電対策の内容は、各家庭の実情に応じLED電球2個を提供し、白熱電球と交換していただくとともに各家庭の状況にあった取り組みをアドバイスしながら夏季（7月～9月）及び冬季（11月～1月）の6月間節電の取り組みを実践していただいています。

節電効果は、サポーター（調査員）が各家庭を巡回して電力計を検針し、削減率を算出しました。

このほか、東京電力の「電気使用量のお知らせ」を各家庭から提出して頂き、削減量を算出しました。7月の節電結果は、下記のとおりです。

## 記

- 1 参加協力世帯数 138世帯
- 2 実調査世帯数 131世帯
- 3 調査期間 平成24年6月29日 ～ 8月1日
- 4 調査方法

サポーターが2人1組で6班を編成し、全世帯を週1回巡回して電力計を検針し、1ヶ月間の電気使用量を確認し、今年の7月の「電気使用量のお知らせ」との比較で削減量を算出しました。

## 5 結果

- ①世帯全体の削減率 平均 6.3% 最大 71.8%
- ②10%以上の削減率世帯数 46世帯 (35%)
- ③削減率別世帯数  

削減率(%)	0～5	5～10	10～15	15～20	20～25	25～30	30～35	35～
世帯数	24	20	16	5	6	7	3	9
- ④使用量増加世帯数 40世帯 (31%)

## 6 削減率算出方法

削減率を算出するにあたっては以下の算出によった。

- A 23年7月の1日当たりの電気使用量（電気使用量のお知らせ）
- B 24年7月の1日当たりの電気使用量（各家庭現地検針結果）
- C 削減率（各家庭現地検針結果）  $1 - B/A$

## 7 家庭の取組状況

モデル地区の実調査世帯数131世帯の7月の削減率は6.3%で、目標とした10%以上の削減率は全体の35%でした。参加協力世帯の皆様は、環境問題への意識が高く従来から節電の取り組みを実施していますが、節電チェックシートの回収結果から、当プロジェクト（7月以降に実施）を契機に更なる取り組みを実施したことが明らかになり電力の削減効果がみられた。

具体的には、全体の87%の家庭が、照明や空調などを中心に新たな取り組みを取り入れていました。これは、勉強会及びサポーターによるアドバイス等の効果によるものと考えられます。7月以降新たに実施した主な取り組み内容とその全体に対する割合を表1に紹介します。

表 1 主な取組み内容とその全体に対する割合

項 目	取 組 内 容	対実調査 世帯比率 (%)
エアコン	室外機に直射日光を避ける日よけを作る	1.7
	温度設定を通常より1℃高くする	1.4
照 明	電球型蛍光灯やLED電球に切替	1.8
	点灯時間を短くする	1.5
	照明器具や天井、窓などを掃除して明るくする	1.3
冷蔵庫	無駄な開閉はしない	1.4
	冷蔵庫の中を整理する	1.4
テレビ	見る時間をできるだけ少なくする	1.3
掃除機	フローリングの床を清掃するときはパワーを弱にする	2.0
待機電力	電化製品を使用しないときはプラグを抜くか電源タップを切る	1.3
生活スタイル	家族ができるだけ一緒の部屋で過ごし、家電品の複数使用を控える	1.3
	家事のスケジュールをたてて日中（9時～20時）を避けて電化製品を使う	1.3

○参加協力世帯の節電チェックシートの回収結果から、節電への取組みをまとめた。

全65項目の取組み内容を「①従来からの実施」「7月以降の実施」にわけ集計した。

各項目の取組み状況は、下記のとおりです。

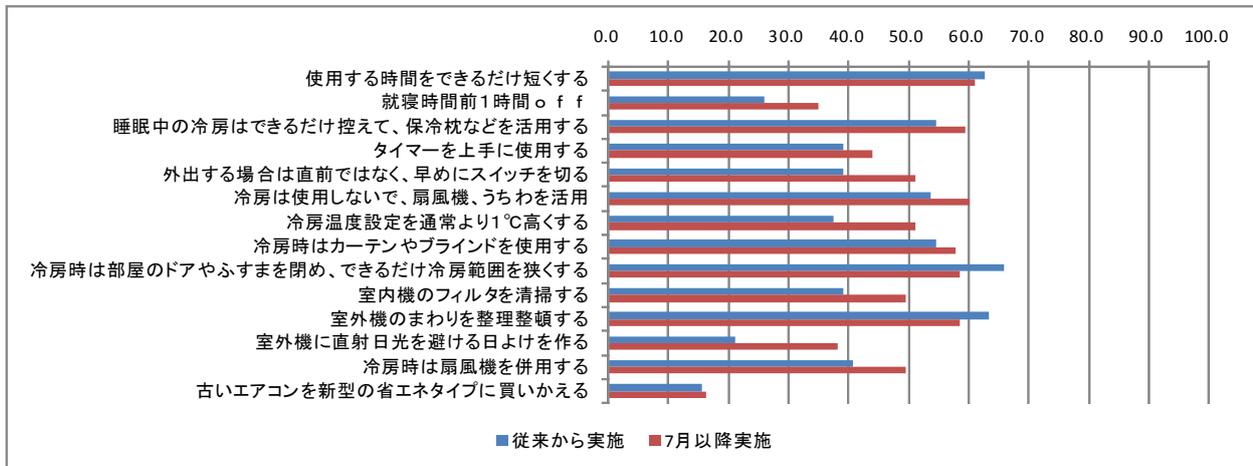


図1 エアコン

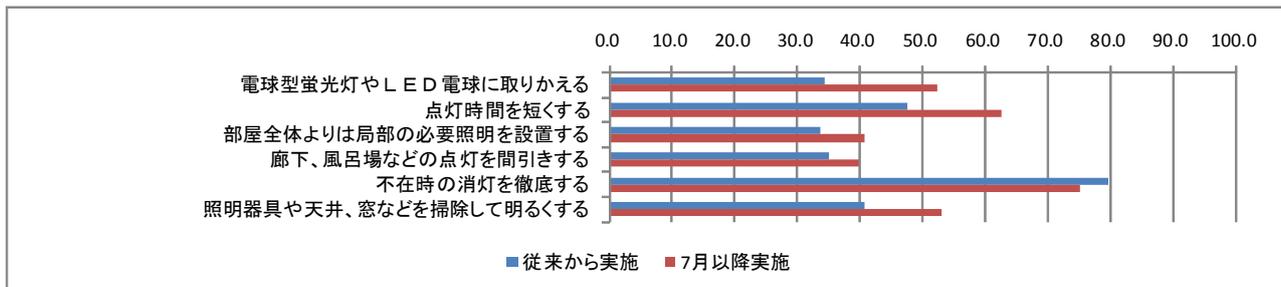


図2 照明

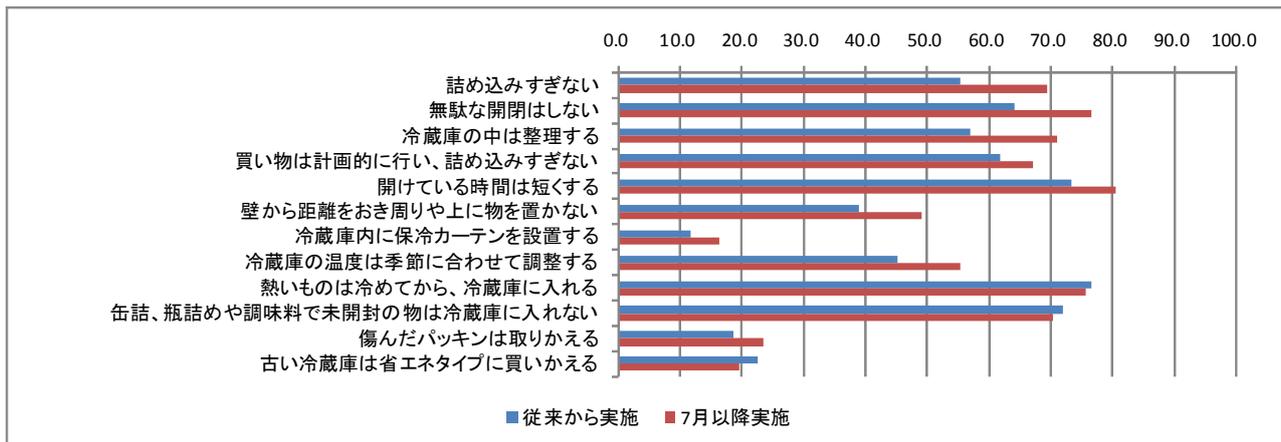


図3 冷蔵庫

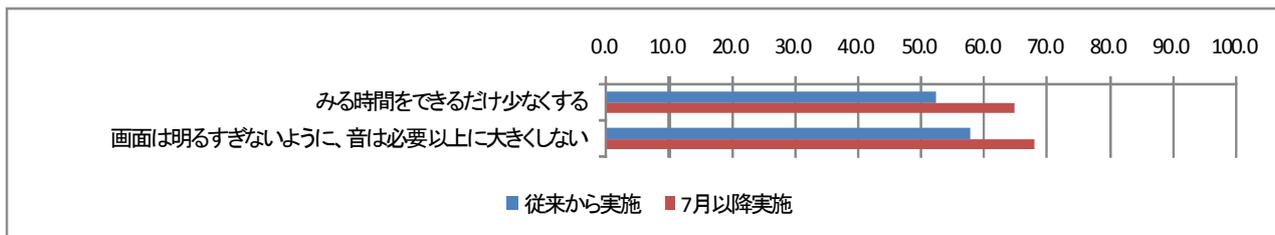


図4 テレビ

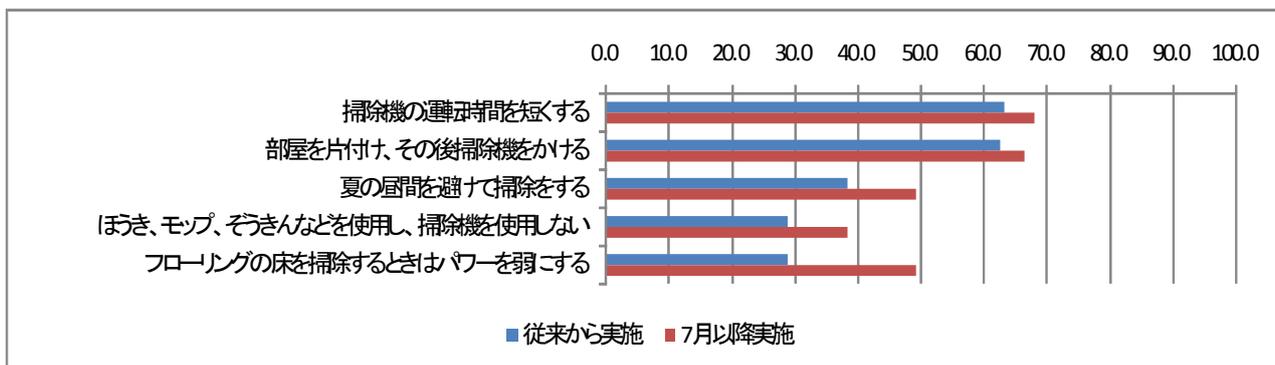


図5 掃除機

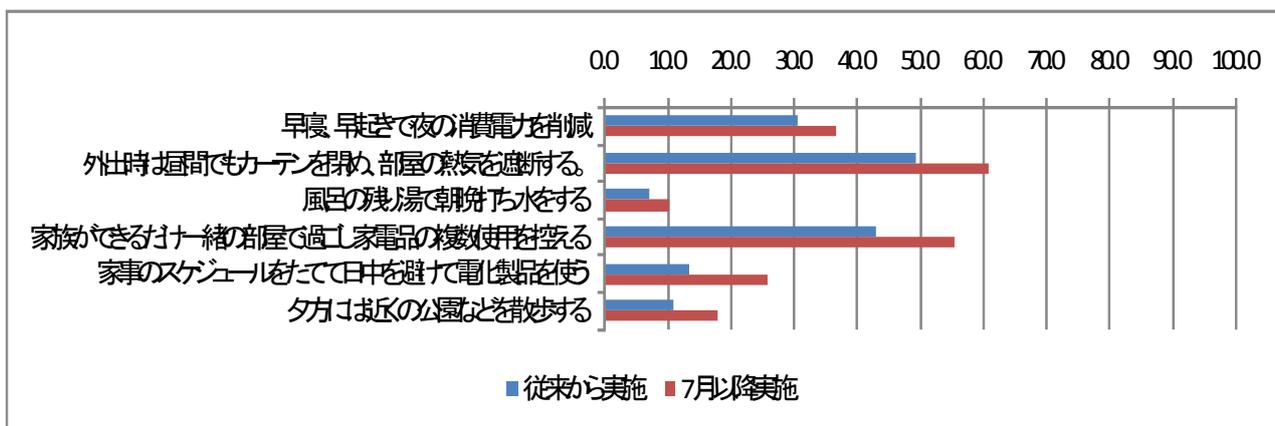


図6 生活ライフスタイル